

# 小売業における「商売」の技術 (第4回)



## 荒利益高の計算

Forum-K 主宰 上條 資男  
 経営コンサルタント

利益を確保するために、まず最初に取り組まなければならないのが、荒利益高(売上総利益ともいい、粗利益とも書く)です。

そこで今回は、荒利益高の計算の仕方や把握の仕方について、解説します。

前回にも述べたように、荒利益高の計算方法は…、  
 荒利益高 = 売上高 - 売上原価 となります。そして売上原価は、期首商品原価在庫高 + 期中商品仕入原価高 - 期末商品原価在庫高で計算されます。

つまり、売上高 - (期首商品原価在庫高 + 期中商品仕入原価高 - 期末商品原価在庫高)です。これを図表で示すと以下の通りです。

荒利益高の計算① \* 売価還元法による場合

項目	原価	売価	値入率
期首在庫高	6,850	10,500	34.8
期中総仕入高	6,000	9,500	36.8
返品高	200	300	33.3
問屋値引	100		—
値下・割引		150	—
廃棄処分高		100	—
期中純仕入高	5,700	8,950	36.3
合計在庫高	12,550	19,450	35.5
売上高		10,000	—
あるべき期末在庫高	6,098	9,450	35.5
期末在庫高	6,098	9,300	34.4
消耗ロス高売上原価		150	—
売上原価	6,452		—
荒利益高	3,548		(35.5%)

但し、この計算方法は、売価還元法と言って、実地棚卸しの際に売価高の在庫を調べる方法によるものです。小売業の場合、個々の商品に売価は表示され

ていますが、仕入原価は表示されていないから、ほとんどの場合この方法によって荒利益高を計算します。

ちなみに、原価法(仕入原価による棚卸し)の計算は、以下の図表のように計算されます。

荒利益高の計算② \* 売価還元法による場合

項目	原価	売価
期首在庫高	6,850	
期中総仕入高	6,000	
返品高	200	
問屋値引	100	
期中純仕入高	5,700	
合計在庫高	12,550	
売上高		10,000
期末在庫高	6,098	
売上原価	6,452	
荒利益高	3,548	(35.5%)

←実地棚卸で判った金額

となりますが、いずれの場合も、期首と期末の商品在庫高を把握するためには、実地棚卸しをしなければなりません。しかし棚卸しの作業は楽なものでも、愉快的な作業でもありませんから、必要だとは思っても実際には行われていないようです。でも実地棚卸しをしない限り、正確な荒利益高、そしてすべての利益が把握できないことになります。

つまり、実地棚卸をしないと、あなたがいくら汗水流して頑張っても、あなたの努力は評価されることなく、儲かったか儲からなかったのかは判らずじまいになってしまうのです。

だから確定申告のための年1回の棚卸しではなく、年4回、できれば毎月末には、実地棚卸しをして、正確な成果(儲け)を把握したいものです。

### ◆ 荒利益高が“儲け”の原点

以上、荒利益高の計算方法について述べてきましたが、商売の基本は利益であり、利益の原点は荒利益高です。

荒利益高が把握できていなければ、経費を使うことも、日々の行動を決めるのも暗中模索の状態です。

そんな状態で1年を過ごし、確定申告のとき利益の少なさに落胆する。これでは前向きの商売ができる筈がありません。明日とは言わず、今日から定期的に実地棚卸しを励行して、前向きな商売を展開しようではありませんか。